

● 不燃建材の特徴

優れた加工性

ケイカル質基材の為、非常に加工性が良く様々な形状が製作可能であり、お客様のあらゆるニーズに対応できます。木材と同様の工具にて加工可能です。

環境にやさしい安全性

アスベスト（石綿）やVOC（揮発性有機化合物）を全く含んでおりません。 F☆☆☆☆対象外商品です。リサイクル可能なeco材料です。

不燃材

国土交通省の不燃認定番号を取得した材料です。（12mm～50mm/NM-8578）（6mm～10mm/NM-2086）内装制限が求められる部位にご使用いただけます。耐熱性能も非常に高い材料です。

高い質感

白色の素材で、表面がきめ細かに仕上げられており塗装のなじみも良く仕上げ材として最適の材料です。仕上げ方法（塗装・シート・漆喰 …）により、高級感や重厚感など様々なイメージに仕上がります。

特殊性能

軽い・・・木材と同等の軽さ（比重0.6g/cm³） ナラ(0.63) / チーク(0.6) / スプルース(0.45)
 腐らない・・・無機質の為、腐りません。
 縮まない・・・収縮が非常に小さな材料の為、収縮はほとんど発生しません。
 反らない・歪まない・・・寸法の変化率が極めて少ない材料の為、反り歪みがほとんど発生しません。

寸法と諸性能

商品名	厚み	幅×長さ	許容誤差			見掛密度 (g/cm ³)	質量 (kg/m ²)	不燃認定番号
	(mm)	(mm)	厚み(mm)	幅(mm)	長さ(mm)			
タイカライトウッド	6	1000×3050	+1	+3~0	+3~0	0.6	3.6	NM-2086
	8						4.8	
	10						6	
タイカライトウッドFX	12						7.2	NM-8578
	15						9	
	20						12	
	25						15	
	30						18	
	35						21	
	40						24	
45	27							
	50	30						

規格性能

物性種	試験規格等	単位	物性値	
			タイカライトウッド	タイカライトウッドFX
見掛け密度	JIS A 5430	g/cm ³	0.5以上0.7未満	
曲げ強さ	JIS A 5430	N/mm ²	6.0以上	6.5以上
含水率	JIS A 5430	%	5以下	
層間強度	JIS A 5538	N/mm ²	0.5以上	
木ねじ保持力	JIS A 5908	N/本	—	250以上

参考性能について

物性種	試験規格等	単位	物性値
曲げヤング係数	JIS Z 2101	N/mm ²	2309
圧縮強さ	JIS Z 2101	N/mm ²	11.4
吸水率(at24hr.)	JIS A 5430	%	118
吸水による長さ変化率	JIS A 5480	%	0.03
釘引き抜き	JIS Z 2101	N/本	271

*試験方法には、記載する規格に準拠する方法の他、試験規格に類似する方法や試験規格を利用する方法で行っているものも含まれます。

● 不燃建材の使用上の注意

使用部位（用途）

使用部位：壁面・天井面・間接照明・廻り縁・カーテンBOX・見切り・ルーバー等、幅広くご使用いただけます。

使用NG部位：外部・浴室・軒天・その他水回り

*水分を吸収します。性能は落ちませんが表面仕上げに悪影響を及ぼします。

梱包及び運搬

製品形状	梱包荷姿	輸送方法	運搬方法
見切り・廻縁	 ダンボール梱包	宅急便	 ※長尺製品は折損の恐れがあるので中央付近を両手でお持ち下さい。
	 パレット梱包	チャーター便	
パネル	 木枠梱包	宅急便	 ※パネル運搬時は板面を垂直にして持ち運びして下さい。 板面を水平にして持ち運ぶと、たわみや振動で製品が破損する恐れがあります。
	 パレット梱包	チャーター便	

一般事項

- ・人工木材は木材と同じように加工が可能です。丸鋸・手鋸で容易に切断できます。
- ・ケイカル質の為、切断時粉が出ます。マスク等を使用して作業を行ってください。*集塵機付工具使用が望ましい
- ・ビス打ち時、必ず下穴をあけてからビス留めを行ってください。（材料の割れ防止のため）
- ・基材データー上のビス引っ張り強度は高い数値が出ておりますが、強く回転させすぎて空回りした場合ビスの効きが極端に低下します。ビス留めを行う場合は十分にご注意ください。
- ・非常に角がかけやすい材料です。取扱いに十分にご注意ください。
- ・材料は曲がりません。曲面使用の場合はご相談ください。

補修について

小さな傷等 → 補修用パテにて補修ください。

大きな傷・欠損 → 一部分を切り取り同形状の貼り付け等で対応ください。

（推奨パテ）

メーカー	商品名
関西パテ化工(株)	一発パテ

※パテは水分が含まれている為、若干「ヤセ」が生じます。
2～3回程度繰り返し作業されますときれいに仕上がります。

仕上げ

- ・塗装・クロス・左官仕上げ等、いろいろな仕上げが可能です。
- ・出荷時に全面下地処理（浸透性シーラーのガン噴き）を行います。
施工時の接着剤塗布用の粉留め程度の処理の為、仕上げ時には再度浸透性シーラーの塗布を行い、その後仕上げ施工をお願いします。

（推奨塗料）

- *合成エマルジョン塗料（EP）
- *アクリルエマルジョン塗料（AEP）

（非推奨塗料）

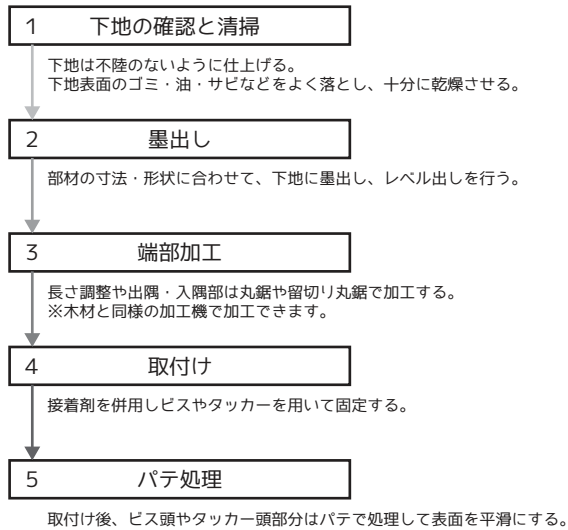
- *ラッカー系塗料（CL）
- *クリア塗料（下地のシーラーが変色する為）

*下地処理のシーラーは時間が経つと薄黄色に変色してきますので、必ず塗装等の仕上げを行ってください。

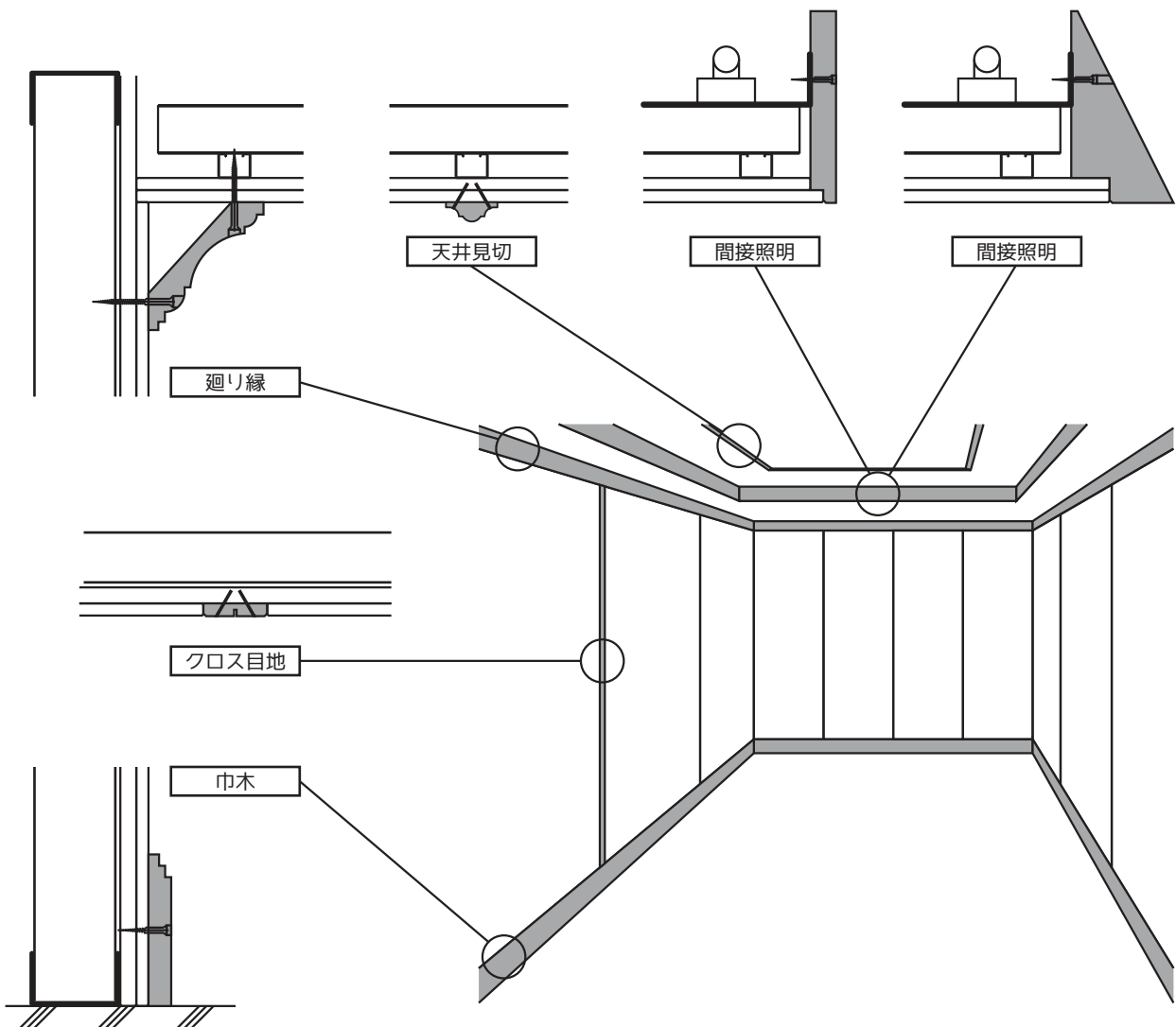
● 不燃建材の使用上の注意 & 施工について

モール・見切り・間接照明 等

PB面や下地金物にボンド・ビス・タッカーで固定します。
製品重量によっては下地金物を必要とする場合があります。形状・仕様に応じた施工方法をご検討下さい。



※基本、伸縮の少ない材料ですが、材料同士の継合部は小口に接着剤を付けることを推奨いたします。



パネル

PB面に接着剤・両面テープ・タッカー・ビスで固定します。
コニシ株式会社のTM工法を推奨しております。

弊社では20mm以上の厚みのパネル及び天井面にはビス併用を推奨しております。
形状・仕様に応じた施工方法をご検討下さい。

- 1 下地の確認と清掃
下地は不陸のないように仕上げる。
下地表面のゴミ・油・サビなどをよく落とし、十分に乾燥させる。
- 2 墨出し・割付け
パネルの寸法・形状に合わせて、下地に墨出し、割付けを行う。
- 3 両面テープの貼り合わせ
パネルの裏面に両面テープを貼り合わせ、十分に密着させる。
- 4 接着剤の塗布
パネルの裏面に接着剤を塗布する。
- 5 両面テープの剥離紙の除去
両面テープが接着面からはがれないように注意しながら剥離紙をはがす。
- 6 パネルの貼り合わせ
パネルを所定の位置に貼り合わせる。
パネルの上から両面テープの位置を十分に加圧し、下地面と密着させる。
- 7 養生
接着剤が硬化する間（23℃の場合24時間）養生する。

